

【様式32】

提 案 の 概 要

施設名： 久屋大通庭園

団体名： Your Flarie プランナーズ

(公益財団法人 名古屋市みどりの協会・
株式会社 トップグループ・
有限会社 佳花園グループ)

(1) 管理運営全般について

①施設の管理運営に対する方針等

『サードプレイスーシェアするガーデン』をイメージコンセプトとして、ここにしかない有益な価値をシェアし、たくさんの人が「何度も訪れたい」と思える庭園を目指します。

○シェアする有益な価値

- ・ GREEN：いつも豊かな緑に包まれる居心地のいい環境をシェアします。
- ・ FLOWER：季節ごとに咲く花で、四季を感じる優しい彩りをシェアします。
- ・ CHILL OUT：ゆっくり、まったり。誰もが落ち着きリラックスできる時間をシェアします。
- ・ COMMUNITY：いつも何かやっている。いつも誰かがいる。そんな繋がりが生まれるソーシャルな場所をシェアします。
- ・ LEARN：好奇心をくすぐり、気づきや学びを得る機会をシェアします。
- ・ DESIGN：景観や周辺環境に合った色彩や素材を使用し、ユニバーサルなデザインをシェアします。

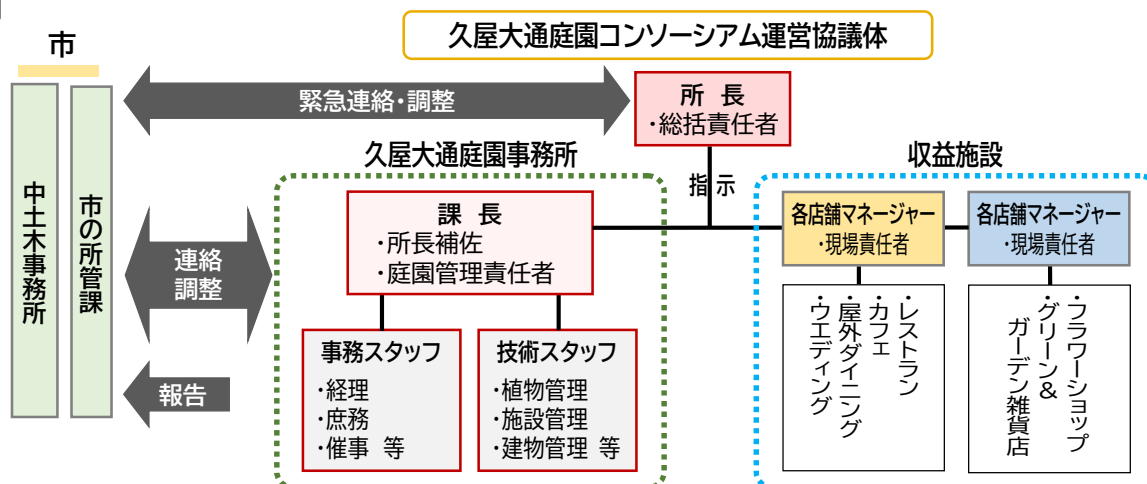
○主要な提案項目

1. アトリウム（クリスタルガーデン）及び庭園のリノベーション
2. 樹林地エリアの再編と活用及び計画的な剪定や間伐による管理
3. 市民や協力企業と共に企画する多彩なイベントの開催（YOUR FLARIE プロジェクト等）

以上をすることによって、収益施設を含めた庭園の一体運営や栄・大須との回遊性の向上を図ります。

②管理運営体制

1. 現地の体制



庭園、収益施設全体の総括責任者の下、庭園管理においては経験豊かな技術スタッフを、収益施設においては専門技能を持ったスタッフを配しそれぞれが質の高い管理運営ができる体制にします。また、現場責任者を配置し、部門ごとの課題は、現地で相互に情報共有やフォローができるように、朝礼や定期的な会議を開催し対応していきます。

2. 緊急時の対応方針

- ・速やかな情報収集と市への報告。関係各署への連絡も迅速かつ適切に行い、来園者の安全第一に努めます。
- ・「危機管理マニュアル」に則り、全スタッフが緊急時の即時対応をできるようにします。
- ・マルシェ出店者や講座講師へも随時、緊急時の連絡体制を周知します。

3. 人材育成

久屋大通庭園フラリエを魅力とホスピタリティあふれる施設とするために、2つの方針を掲げて行います。

方針1 利用者の安全を確実に守るための危機管理能力を高めます

方針2 働く人材のやる気・活力向上につながる育成・支援を充実させます

内容 1) 防災訓練・救命講習

2) スタッフの定期的なスキルアップ、フォローアップ研修

3) 資格取得支援制度による資格保有者の強化

4) 女性活躍推進育成

③運営管理の方針

1. 市民ニーズの把握と利用者サービスの向上

日常的に、庭園・収益施設利用者、イベント参加者などを対象にしたアンケートによるリアルな声へ対応します。利用者ニーズに対応した新たな取り組みとしては、以下のことを実施します。

- ・授乳室設置、イベント時のキッズコーナー
- ・植物マップ作成、名標の充実
- ・花や緑の講習会メニューの充実

また、利用者の動向データ（デジタル集積データ）も積極的に反映していきます。

2. 利用促進策としての「魅力づくり、話題づくり」

都心の緑と、彩り豊かに咲き誇る花々、「宝石箱」の中のきらめきに似た魅力を、皆さんに届けていきます。

- ・Instagramなどで人気のフラワーフォトスポットの設置
- ・緑とアートのコラボした撮影スポットを設置
- ・フラリエブランド（もの作り）の制作イベント（ハニー、ハーブティなど）の実施
- ・環境学習の連続講座「都心の自然塾」の実施
- ・庭園の花や置物などを探して回る「冒険の庭」の実施

3. 実施する多彩なイベント

① 収益施設と庭園が連携するシームレスなイベント

フラリエの庭園でつくられたハーブティとカフェのパティシエが作るスイーツを合わせるマリージュイベントや、アロマオイルで収益施設の香りをプロデュースするイベントなど、1年を通じて収益施設と庭園が連携する『シームレスなイベント』を開催していきます。

② 市民が主役のイベントを拡充（YOUR FLARIE プロジェクト（後述））

『サードプレイス』として、市民が集い、自ら発信するイベントを拡充していきます。このためのコーディネート窓口を設置します。

③ 指定管理者が主催（共催）するイベント

- ・多肉とみどりのマルシェ（年2回）
- ・ローズフェスタ（5月）
- ・ジャングルマルシェ（6月）
- ・ハロウィンキッズパレード（大須商店街と共催）

④ 協力企業プロデュースの企画案

- ・ぶらマルシェ
- ・パンフェア
- ・うつわ市

4. メディアを活用した広報・PR

- ① WEBメディア（WEB 雑誌）への掲出をします。
- ② SNSの活用
お花の開花情報を中心に、リアルタイムでの情報発信。利用者の発信も活用するために、フォトスポットの充実、協力企業のツイッターでイベント等の情報発信をしていきます。
- ③ 回遊性の「送り出す」仕掛け
電子掲示板（デジタルサイネージ）等を利用した「栄や大須の情報コーナー」を設置します。
- ④ 県外からの来園者招致
観光目的の来園者を誘致するため、観光情報系サイトへの出稿を検討していきます。

5. にぎわいづくり、大須、栄、久屋大通との回遊性

- ① 「引き込む」仕掛け：フラリエでしか味わえない時間と空間をシェアする
 - ・「みどりや花をシェアする」ためのリノベーション（アトリウム、中庭等（後述））の実施
 - ・にぎわいを創出する多種多様なイベントの週末開催（上記「3. 実施する多彩なイベント」）
- ② 「送り出す」仕掛け：「行ってみたくなる」魅力的な情報をシェアする
 - ・電子掲示板等を利用した「栄や大須の情報コーナー」の設置
 - ・栄や大須の企業や商業施設と個別に連携し、SNSでの相互発信
- ③ 「回遊する」仕掛け：近隣施設との共催行事の推進等
 - ・大須商店街連盟との共催行事を拡充
 - ・久屋大通公園南エリア実施イベントのサテライト会場を誘致
 - ・栄地区の商業施設と連携し、久屋大通南北の回遊性向上
 - ・観光需要の復活に備えた施策の実施（外国人旅行者用「コールセンター」の活用）
 - ・シェアバイシクル駐輪場の設置、近隣駐車場情報の提供

（２）実施業務の計画について

①指定管理業務

1. 庭園管理

- ① 庭園の改修と管理
 - ・指定管理側エリア（庭園）のリノベーション
庭園（樹林地や池の周辺等）にくつろげる場所（ベンチ、リクライニングチェア、小テーブル）を多く設置することで、カフェでテイクアウトしたドリンクやスイーツを庭園側でも飲食できるようにしたり、庭園内で使用できるレジャーシートやヨガマットなどのアイテムを収益施設で貸し出すサービスをしたりすることで、庭園全体で一体となった連携を図ります。
 - ・エントランスガーデンの改修
人と庭園をつなぐ公園の顔となるエリアとして、思わず入ってみたいくなる、明るく気持ちの良いエントランスをつくります。成長しすぎた樹木を伐採し、低木と宿根草を中心に、足元から建物へと広がるガーデンにします。
 - ・新たな花壇の設置と滝の修景の改修
北側の歩道から視認しやすい位置に、新しく花壇を整備してボリュームある花エリアを設定します。背景の「緑」と滝を流れる「水」に、新設の花壇の「花」が一体化した景色が目に入る修景を作ります。現存する滝の領域は、周囲の繁茂した枝葉を整理して、奥の東屋を頂点とした末広りの構図の中で、新設の花壇と対をなす水の景色にしていきます。
夜間は常時ライトアップすることで、水景と花壇のコントラストが映えるエリアにします。
- ② 植物管理
 - ・フラワーフォトスポットの維持管理
フォトスポットには、多くの種数の寄せ植えを配し、一年中、花が絶えることなく美しい状態を保ちます。

- ・夏の水面を飾る水生植物の管理
熱帯スイレンやハス等の水生植物を入れて水面を飾るとともに、話題性のあるものの植栽にも積極的に取り組んでいきます。
- ・冬の花壇の維持管理
一般的に花の少ない冬の植栽には、寒さの中でも花を咲かせる種類を使って、あでやかでカラフルな花壇の維持をしていきます。
- ・ハンキングバスケットの設置
回廊の列柱には、花の少ない季節にも、ハンギングバスケットによる花飾りを設置して園内を彩ります。

③ 祭事感・デザイン性のある庭園づくり

- ・フラワーガーデン
「いつ訪れてもたくさんの花々に癒される」をテーマに、季節によって花が途切れることがない管理をするとともに、祭事感やデザイン性の感じられる演出をします。
- ・ウォーターガーデン
初夏から秋にかけての水面を、スイレン・ハス・カキツバタ等の多様な水生植物で彩るとともに、夏場にバラグアイオニバスを入れて、来園者の目を引くようにします。

④ 都心に残る貴重な緑を、まちの資産とする

都心に残る貴重な緑を構成する樹林地は、「アートの森」と「都心の森」に再編して、計画的に剪定や間伐を実施していきます。

- ・アートの森
森の小道で、ふと出会ったら面白そうな小人や動物、妖精、小屋などを配置したり、芸大生の造形作品を置いたりし、写真撮影や、目線が低い子どもも楽しんで散歩してもらえる空間にします。そのために、木漏れ日が注ぐ明るい森を目指して管理します。
- ・「都心の森」
できるだけ「自然」に近い森の維持を目指し、昆虫類、鳥類を含めた樹林地の生態系が豊かになるように樹木の管理をしていきます。都心にある自然に近い森として、環境学習や自然体験の場に利用される森を目指していきます。
- ・「都心の森」の生態系を維持管理するために
環境学習等の利用に予定しているエリアでは、現状の樹木調査を実施（初年度）した上で、大学教員や樹木医などの専門家との協働で管理計画を策定して、計画的な剪定や間伐を行います。

2. 施設管理の考え方

① 「居心地」の確保

- ・雑草の駆除
- ・園地の清掃
- ・休憩施設の維持

② 構造物の維持

- ・水景施設の維持
- ・照明施設の維持
- ・園路の維持
- ・散水システムの見直し

3. 協働

① 「つながる、つなげる」活動として

- ・地域の市民や商店街、企業との連携
大須商店街連盟との共同イベントや近隣企業や商業施設との連携をしていきます。
- ・市民のボランティア活動の継承と拡がり
参加者の広がりを図るとともに、次世代の育成やイベントにも協力を仰ぎ、多世代や多様性のつながりの機会とします。
- ・在名古屋の外国公館との連携（国際交流会の実施）

②「育み、輝く」活動として

- ・「都心の自然塾」（環境学習）支援ボランティア
新たなボランティアグループを結成します。都心に残る貴重な森を資産として、次世代を担う子どもたちに、自然や生態を学ぶ機会の提供を協働で行います。
- ・「都心の森」を維持するための連携
樹林地は植栽樹木を単に維持するだけでなく、「都心の森」全体を小さな生態系として維持することを試みます。大学教員等の協力をいただき、樹林地全体として、鳥類や昆虫類に適した環境が維持されるように整備していきます。
- ・「アートの森」に造形芸術や遊び心を付加する連携
芸術大学の協力をいただき、造形作品を森中に設置して、アートと自然の融合した修景を創り出す試みに挑戦します。
- ・市民が「素敵に生きて輝く」ための協働
YOUR FLARIE プロジェクト（後述）による活動の活性化、また、あらゆる人々が活動しやすい環境づくりを進めていきます。

②自主事業

1. 収益施設のリノベーション

①アトリウム

- ・グリーン&ガーデン雑貨のショップをアトリウム内に設置。カフェとの行き来もシームレスにし、飲食スペースとしても利用できるようにします。
- ・イベントスペースでは、随時音楽ライブなどを開催し、ドリンクを飲みながら楽しめる空間として利用できるようにします。

②中庭

- ・テントを風景に溶けこむ色合いに改修します。また、テント前は人工芝を配し、より庭園の緑に馴染む空間とします。
- ・テントは、屋外ダイニングの利用がない時間帯には、誰でも利用できる休憩スペースとして活用します。

2. 収益施設の運営

①飲食部門

- ・カジュアルレストラン
メインダイニング。幅広い客層に対応するメニューを取り揃え、愛知県産の食材も積極的に使用します。
- ・カフェ
朝食から夜カフェまで利用可能なオールデイカフェを運営します。
- ・屋外ダイニング
季節ごとの全天候型ダイニングとして、夏はビアガーデン、冬はオイスターガーデンとして営業します。

②物販部門

- ・グリーン&ガーデン雑貨
リニューアルしたクリスタルガーデンで、HOME&GREEN をコンセプトにしてインテリアのように展示し、ライフスタイルへの提案型販売をしていきます。
- ・フラワーショップ
切り花、花苗、アレンジメントなど、ギフト需要に応えた商品展開をします。

③サービス部門

- ・ウェディング
フラリエの空間を使ったカジュアルウェディングを演出します。
- ・パーキング
名鉄協商のコインパーキング。24 時間 18 台利用可能

3. その他自主事業

①「YOUR FLARIE プロジェクト」

フラリエ収益施設の共有空間（アトリウム、中庭、北ウイング等）を、マルシェやコンサート、レッスン、展示会など、個人や企業が多様な活動をする場として、広く市民にご利用いただきます（利用料金制）。人々がサードプレイスとして、集い、時には自ら発信し、とある日はただゆったりとした時間を過ごす。そんな都心での時間と空間の利用を促進することをコンセプトにした、にぎわいを創出する取組みです。

- ・都心の庭園風景を活かした「にぎわい」を創出するイベントのコーディネート
自ら演じ、集える場所としての利用を促進します。

マルシェ：屋外で庭園風景を楽しみながら、見て買って、参加して、食べて楽しむ1日

屋外コンサート：3回/年、春・夏・秋の実施に、参加希望者をコーディネート

- ・「素敵に生きる」ための多様な活動を支援する（おもに、北ウイング）

北ウイングを多目的スペースに改修、1年を通して、あらゆるジャンルの催事に利用してまいります。

魅せる：フォトスタジオ、小さなステージ（音楽、落語等）、食と文化を楽しむ催し、等

学ぶ：花レッスン、サマースクール、等

育てる：講演会・展示会、朝活（健康）、等

②指定管理者・協力会社主催の自主事業

- ・ギアレンタル：庭園でくつろいでいただくためのアイテムを貸し出します。
- ・自動販売機：非常時ライフラインとしての役割も鑑み、引き続き設置します。
- ・シェアバイシクル：近隣を回遊するための利便性に配慮し設置します。

（３）収支計画について

①管理運営にかかる費用等

〈各年度ごとの提案総額〉

令和6年度	35,000千円	令和11年度	35,000千円
令和7年度	35,000千円	令和12年度	35,000千円
令和8年度	35,000千円	令和13年度	35,000千円
令和9年度	35,000千円	令和14年度	35,000千円
令和10年度	35,000千円	令和15年度	35,000千円

〈期間を通じた収支計画〉

【収入】

指定管理料	名古屋市からの指定管理料	350,000千円
行為許可料	撮影等	5,000千円
収益還元金①	常設収益施設からの充当分	100,000千円
収益還元金②	その他自主事業の収益分	40,000千円
収入合計		495,000千円

【支出】

人件費	人件費及び福利厚生費 等	212,000千円
事務費	広告宣伝費、備品、消耗品購入費 等	15,500千円
光熱費	水道、ガス、電気料金 等	74,000千円
管理費	植物・建物管理、修繕費、一般管理費 等	193,500千円
支出合計		495,000千円

※額には消費税及び地方消費税を含む。

②その他使用料の提案

- ・既存施設の使用料単価（1 m²あたりの年額）の提案 1,800 円
- ・その他の自主事業に係る使用料（自販機除く） $1,800 \text{ 円/年} \cdot \text{m}^2 \times 18.59 \text{ m}^2$
（植物販売スペースや保管冷蔵スペース等）

〈経費節減の取り組み〉

1. みどりの協会のスケールメリットを活かした電力契約
2. 光熱水費使用料削減に向けての対応策
 - ・公園灯の LED 化
 - ・アトリウムに遮光幕設置
 - ・下水処理水を使った空調システムの運用の再検討
 - ・漏水の予防、使用水量の圧縮等による水道使用量の削減
3. 植物管理費の削減策
 - ・花苗や種子の提供品を活用
 - ・落葉の堆肥化
4. 備品経費のリースおよび再リースの活用による効率運用
5. 第三者委託経費の効率化